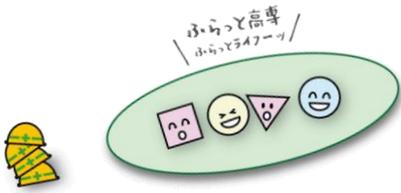


ふらっと通信

2023年7月号(第2号)

発行：人権教育推進室長 伏見裕子
(fushimiyuko@osaka-pct.ac.jp)



活動報告：5年生人権教育講演会

6月14日に、5年生対象の人権教育講演会を実施しました。

西成労働福祉センターの海老一郎さんにお越しいただき、「釜ヶ崎で出会った忘れられない人たちのこと」と題してお話いただきました。

学年の講演テーマ「現場から人権を考える—困窮した状況下の生活を支援する活動を学ぶ—」に沿って、海老さんがこれまで支援してこられた労働者の人生や、日雇労働に関する制度、各種統計データを紹介し、労働者の人権や働くことの意味について、学生からの質問・意見に寄り添いながら丁寧に説明してくださいました。

長年労働者の支援に携わってきた立場から、今後労働者として社会に出る学生たち自身の人権を尊重することや、相談することの大切さなどについてもお話しいただき、今のしんどい社会をつくってきた大人の一人として、海老さんの思いが語られる場面もありました。



5年生の振り返り(7/24現在)

- この講演の内容を理解できましたか？
「はい」(94.7%)、「いいえ」(5.3%)
- この講演のテーマについて新しい発見がありましたか？
「はい」(86%)、「いいえ」(14%)
- 今回学んだことを、他の場面(他の人権課題)でも活かせると思いますか？
「はい」(87.7%)、「いいえ」(12.3%)

【学生からのコメント】(一部抜粋)

理解したこと 「釜ヶ崎の方が、日本国憲法で保障されている最低限度の生活を受けられなかった理由が理解できた。」

発見したこと 「お金にまつわる制度は急を要することが多々あるので、制度の形や条件にはユーザーに寄り添う必要がある。」

学びを活かす場面など 「これまでの西成を含む労働者によって築かれた法制度改善への感謝をもち、現在の非正規雇用の問題についても注目していきたい。」
「困ったことがあった時に相談する場所があることを知ったので、相談しに行ける。」

ふらっと高専フィールドワークのご案内

9/29(金・補講日)14時から、「オールケア寝屋川」にて、ふらっと高専フィールドワークを行います。対象は、1～5年生の希望者です。詳細は、「「ふらっと高専」フィールドワークのご案内」の掲示に記載しています。参加希望の学生は、掲示のQRコードから申し込んでください(8/7〆切)。

本校はものづくりの学校なので、障害のある方が行うレクリエーション(折り紙、輪投げ、射的など)の支援につながるような道具のアイデアなどに関するディスカッションも予定しています。

皆さんの積極的な参加を期待しています！